

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 令和7年11月10日

P T A名		静岡県立東部特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	81人				

1. 使用状況

寄贈物品名	水陸両用車いす
使用学年及び人数	小学部31人 中学部20人 計51人
使用頻度	6月～7月プール利用時 5回
使用状況	<p>体育「水泳」の授業時に使用した。水に親しむ経験が少ない児童生徒がモビチェアに乗り、水に浮かびながら足や腕で水の冷たさを感じた。</p> <p>PTAイベントの「プール施設開放」では、親子で一緒にモビチェアに乗り、プールに入った。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>水泳の授業で使用した。はじめは緊張する姿も見られたが、水に浮く感覚を楽しみリラックスして乗ることができた。水がゆっくりと自分の体にかかるのを見たり、手指を動かして水に触れたりして、夏の太陽の下で水の冷んやり感をゆったり楽しむことができた。</p> <p>PTAプール施設開放では、多くの親子が参加しモビチェアを利用した。重い障害があると近隣のプールや海に行く経験が乏しい傾向にあるが、学校のプールはスロープ等の整備も整い安心して楽しめる。モビチェアを親子で体験したり、兄弟で乗ったりと普段できない経験をする事ができ好評であった。医療的ケア児童の保護者からも「モビチェアの使用により子供と一緒に入水できて嬉しい」との声もあった。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>安全に使用するための周知が必要である。</p> <p>①陸上で乗車してから水に入る(水に浮いたままでは不安定である)</p> <p>②ベルトを着用すること</p> <p>③自走式ではなく、人が引っ張るタイプ</p> <p>④水の中では、引っ張る人と、転覆防止のために横で見守る人が必要</p>
その他希望や所感など	<p>寄贈していただき、ありがとうございました。</p> <p>経験が不足しがちな本校の児童生徒たちですが、安全な環境を整え、季節ならではの活動の機会を、今後もPTAとともに活用させていただきます。</p>

2. 活用の様子

プールのスロープを使用してゆっくり入水。一人でも、二人で乗っても浮くので安心です。



水泳の授業や、PTA施設開放時にも使用。暑い中、安全に水に入り浮力を感じたり、水の冷たさや流れる感触を味わったりと、充実した時間を過ごしました。